

## 第29回全国選抜高校テニス ドリーム枠選考理由

第29回全国選抜高校テニス大会選考委員会

男子

**市立函館高等学校（北海道）（初出場）**

2007年4月に函館東高校と函館北高校が統合され、市立函館高校として新しいスタートを切る。消えゆく2つの高校の志を継ごうとひたむきな活動を続け、地区3位の好成績を修めた。男子としては函館支部初の選抜出場という快挙である。

**佐賀西高等学校（佐賀）（2回目19年ぶり）**

創立131年目を迎える佐賀県屈指の伝統校である。テニス部を初め、運動部・文化部の活躍がめざましく、文武両道の実践は県民から高い評価を受けている。制限された時間の中で効率的な練習を行い、九州地区での健闘が認められた。

女子

**金沢伏見高等学校（石川）（初出場）**

地域に密着した活動が評価された。特に、部員の中心が人間福祉コースに属しており、車いすテニスプレイヤー・小中学生との交流を深めている。福祉とボランティアの視点からテニスをとらえると同時に、着実に実力をつけている。

**宮崎南高等学校（宮崎）（3回目18年ぶり）**

20年前、選手として選抜に出場した現監督が、選手時代に自ら作ったコートで選抜出場の夢を追い続けた。そして今年、念願の九州大会出場を果たした。母校での指導者として全国選抜出場という、20年に及ぶ夢の実現である。